

アジア・ゼロエミッション共同体(AZEC)推進関係省庁会議(第3回) 議事要旨

日時：令和6年10月7日(月) 18:35～18:45

場所：官邸4階 大会議室

出席者：石破内閣総理大臣、橋内閣官房副長官、市川内閣官房副長官補(外政)、阪田内閣官房副長官補(内政)、畠山内閣官房 GX 実行推進室長、中村外務省大臣官房地球規模課題審議官、西山内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付)、江島内閣官房内閣審議官(海外ビジネス投資支援室)、堀本金融庁総合政策局政策立案総括審議官、中村外務省アジア大洋州局南部アジア部長、石月外務省国際協力局長、土谷財務省国際局長、森農林水産省輸出・国際局長、荒井経済産業省通商政策局長、村瀬資源エネルギー庁長官、田中国土交通省国際統括官、土居環境省地球環境局長、山田 AZEC 担当大使、小林内閣広報官

- 橋内閣官房副長官から、
 - ・ 第2回 AZEC 首脳会合は、地域の脱炭素化、経済成長、エネルギー安全保障の実現をともに目指すアジアとの協力関係を、新たな段階へ引き上げていく重要な機会であること。
 - ・ アジアの脱炭素化に向けたルール形成など「今後10年を見据えたアクションプラン」を含む首脳共同声明の合意を目指して、関係省庁が一丸となって全力を尽くしていること。
 - ・ 関係各省が協力して、AZEC パートナー国との個別の協力案件の組成を進めていること。について発言があった。
- 中村地球規模課題審議官から、第2回 AZEC 首脳会合の議事次第及び首脳共同声明の調整状況について報告があった。
- 畠山内閣官房 GX 実行推進室長から、第2回 AZEC 首脳会合の成果文書であるアクションプラン及び協力案件の調整状況について報告があった。
- 最後に、石破内閣総理大臣から、
 - ・ 今週のASEAN(東南アジア諸国連合)関連首脳会議の機会に、ラオスにて第2回AZEC首脳会合が開催され、日本が議長を務めること。
 - ・ 脱炭素化の機運が国際的に高まる中、輸出産業に強みを持つアジアがグローバル・ビジネスで生き残るためには脱炭素化の取組は不可欠であること。
 - ・ 近年の脱炭素化を巡る国際情勢を捉えて、日本と地域のパートナーが手を携え、次の一手を打っていかねばならないこと。
 - ・ AZECは、アジアにおいて、脱炭素化・経済成長・エネルギー安全保障を同時に達成しつつ、多様な道筋の下でネット・ゼロに向けた取組を進めるという原則を共有する大変重要な取組であること。
 - ・ 今回のAZEC首脳会合では、今後10年を見据えたアクションプランについてパートナー国と合意し、AZECを新たな協力のフェーズへ引き上げることを目指すこと。

- ・ 具体的には、アジアでの脱炭素化に資する活動を促進するルール形成を進め、パートナー国からの期待も大きい日本の技術を活用した脱炭素プロジェクトを更に生み出していく好循環を作ること。この好循環を、排出量の多い電力・運輸・産業分野の脱炭素化に資するイニシアティブが先導していくこと。これにより、日本がアジアひいては世界の脱炭素化に努めること。このことを訴えていくこと。
- ・ 関係省庁の皆様方におかれては、今週のAZEC首脳会合に向けて、橘官房副長官の下、政府一丸となって、調整に全力を尽くしてほしいこと。

について発言があった。

(以上)